



おおや



学校教育目標「心豊かでたくましい子の育成」

10月号 R6.9.28

発行責任者
校長 田崎 守

上尾市立大谷小学校 上尾市大字大谷本郷 528 電話 048(781)0120

開校 135 周年を迎えて

残暑厳しい9月でしたが、月末に近づくとつれ、ようやく朝晩の気候が、涼しく感じられる時期になりました。学校では、運動会の屋外練習ができるか、連日暑さ指数とにらめっこをしながら過ごした9月でした。校庭を使つての練習や準備がなかなかできずにおりましたが、先週後半からようやく校庭を使うことができるようになりました。本日の運動会も無事開催することができ、保護者の皆様、PTA 本部の皆様、前日までの準備をはじめ、当日の運営面でも様々な面からご協力をいただき、誠にありがとうございました。

さて、10月に入るとすぐ、10月6日は大谷小学校の135回目の開校記念日になります。式典等はいりませんが、今年はPTAから全児童に本校のマスコットキャラクター「おーちゃん」のイラストが入った鉛筆を135周年記念として全児童に配付されました。

日々、校内を巡回していると、大谷小の135年の歴史にふれる時があります。しかし、詳細なことを知るには、やはり本校の卒業生にきいてみるのが一番の歴史を知る近道だと思い、大谷小学校での思い出について聞いてみました。

- ・大谷小で一緒に過ごし仲良くしていた友達が、鴨川小の開校に伴って、別々の学校で過ごすことになってしまい、寂しかったのを覚えています。(60代・男性)
- ・学校の校庭のバックネット裏に駄菓子屋さんがあって、放課後によく友達と集まっておしゃべりをしてお菓子を食べながら過ごしていました。(60代・男性)
- ・給食がまだなかったの、学校に登校したらすぐに、新聞紙にくるんだ弁当を暖飯室(大谷小敷地東側)に持って行って、昼食時はその温めた弁当を食べていました。(70代・男性)
- ・朝運動の時間、放課後は汗をかきながら、市民駅伝大会に向けて校庭を何周も走ったことを覚えています。当時の大谷小は、市内でも強くて、連続優勝していました。(20代・女性)

そして今回、135周年を迎えるにあたり、改めて強く感じていることは、卒業生や地域の皆様の大谷小学校への思いの深さです。日々の登下校時の地域の皆様の見守り、学校運営協議会での熱心な熟議、PTA 活動での学校との関わりなど、母校として、地域の学校として、多くの方々が大谷小学校を愛し、支えてくださっているのを見るにつけ、135年の重みを感じています。

これからも、大谷小学校を支えてくださっている方々の思いを受け継ぎながら、また新たな歴史を紡いでいけるよう、子供たちとともに取り組んでまいります。



大谷小学校跡 開校百年誌から